



- 令和4年10月26日、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【石川県部会】」を開催し、県内の労働力需給状況の説明や現場見学会、出前講座等の実施報告を行い、それらを踏まえた今後の活動方針等に関して意見交換を行いました。
- 鉄筋組立体験や女性技術者による意見交換会等に加え、オンラインによる現場見学会、ICT建設機械の体験や3D画像による計画説明など様々なツールを活用したユニークな取り組みが数多く紹介されました。

開催概要

- 日 時 令和4年10月26日（水）14:00～15:30
- 開催場所 金沢河川国道事務所 会議室
- 出席機関 [行政] 金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会
[建設産業] 日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルタント協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会
[教育機関] 金沢工業大学、石川高専、県立小松工高

意見交換での発言要旨

- ◆ DXの推進やICT施工、週休2日制などにより、安全面・衛生面を含め建設業は変革していることをもっと発信していきたい。
- ◆ 多くの学生が建設業等へ就職している一方、離職者が多いのが最近の状況。
- ◆ 生徒にはなるべく様々な経験をさせており、地元へ定着している。入学してくる学生が減少している問題はあるが、就職先が充実していることを伝えていきたい。
- ◆ 親に建設業の現状を理解してもらうための取り組みが重要だが、中学生以上になると親と共に行動する機会が得にくいため、小学生を対象として実施している。
- ◆ 最近の学生・生徒はテレビはほとんど見ずインターネットとかYouTubeを見ているので、学校にはウェブサイトの更新や動画を作成してもらうようお願いしている。

開催状況

